

科学研究費助成事業 研究成果報告書

平成 27 年 6 月 11 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(C)

研究期間：2011～2014

課題番号：23520209

研究課題名(和文)近代文学関係定期刊行物の総合的研究

研究課題名(英文)General research of periodicals about modern Japanese literature

研究代表者

安藤 宏 (ANDO, HIROSHI)

東京大学・人文社会系研究科・教授

研究者番号：30193113

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 3,700,000円

研究成果の概要(和文)：日本の近代の定期刊行物のうち、文学関係のものについて、包括的なデータベースの構築を行うことを目的としている。具体的には次の三点の作業を行った。これまで個人的に収集してきた6,000タイトル以上の雑誌の、既存のデータベースの管理。これまで作成してきた、『文芸年鑑』『出版年鑑』『雑誌年鑑』のデータベースの整備。『日本近代文学大事典』第五巻(新聞・雑誌編)収載の全刊行物のデータベース化。このうちについては、独立項目以外のものも含め、全2817点すべてのデータベース化を行った。

研究成果の概要(英文)：This project primarily aims to build the synthetic database of the modern Japanese publications mainly related with literature. The contents consist of the following three points
 Management of the existing DB containing 6,000 or more titles collected individually
 Maintenance of the existing DB of "UNGEI NENKAN", "SHUPPAN NENKAN", "ZASSI NENKAN" centering on 1945 or before,
 Database creation of all the publications of "KINDAIBUNGAKU DAIJITEN) "Vol15,1977.
 Among these, about the DB was able to be completed for all the magazine of 2817 titles.

研究分野：日本近代文学

キーワード：日本文学 近代文学 雑誌 データベース メディア 定期刊行物 日本近代文学館 文芸雑誌

1. 研究開始当初の背景

世界の主要先進国のうち、日本の公共図書館ほど自国の直近百年の定期刊行物(特に第二次大戦以前)の収蔵状況が思わしくない国はない。特に文学関係雑誌は個人的な性格や地域性の高い特殊なものが多く、また、大衆文化関係の雑誌の収集を公共機関が「俗悪」であるという理由で忌避されてきた時期などもあって、広義の「文学」関係の定期刊行物に関して、包括的な実態を把握するのはきわめて困難な状況にある。

2. 研究の目的

本研究は日本の近代において広義の「文学」にかかわる定期刊行物に関し、これまで7年間に渡ってデータを蓄積してきたDBを拡充・改良し、独自の雑誌検索システムを構築することにある。

3. 研究の方法

近代文学の定期刊行物に関する総合的な文献は、『日本近代文学大事典』第5巻「新聞・雑誌」編(1977年、日本近代文学館編)がほとんど唯一のもので、本事典に記載された全データを慎重に確認しながらDB化する。

4. 研究成果

本DBは現在、日本近代文学館に寄贈する準備を進めている。これによって、閲覧者が創刊年月、ジャンル、発行所、主要同人など、さまざまな角度から雑誌の検索を行うことが可能になることが見込まれる。合わせて、『近代文学大事典』改訂版編集の重要な資料になることが見込まれる。

ここではその一例として、博文館から発行された雑誌の全てを検索した結果を提示しておきたい。

- D 日本之女学 M20/8-M22/12(25) 日本之文華 婦ブ・博文館・
- D やまと錦 M21/12-M22/12(13) 日本之文華 文ブ・博文館・広津直人(広津柳浪)・
- D 日本之少年 M22/1-M27/12 「少年世界」童ブ、教ブ・博文館・松永道一、中山整爾(・
- D 日本之文華(「日本之女学」「やまと錦」合) M23/1-M23/12 婦女雑誌 文ブ・博文館・松井広吉(松井柏軒)・野口竹次郎・
- D 尋常小学 幼年雑誌 M24/1-M27/12 「少年

- 世界」童ブ・博文館・
- D 婦女雑誌(「日本之文華」継) M24/1-M27/12 婦ブ・博文館・岸上質軒・
- D 幼年雑誌 M24/1-M27/12 少年世界 童ブ・博文館・
- D 日本全国小学生徒 筆戦場(「幼年雑誌」継) M24/3-S26/12 「学生筆戦場」改 童ブ・博文館・奥山千代松・
- D 筆戦場(「幼年雑誌」継) M24/3-M26/12 「学生筆戦場」童ブ・博文館・奥山千代松・
- D 学生筆戦場(「日本全国小学生徒 筆戦場」改) M27/1-M27/12 「少年世界」童ブ・博文館・奥山千代松、坂下愛柳・
- D 少年世界(「幼年雑誌」「日本之少年」「学生筆戦場」「少年文学」「幼年玉手箱」統) M28/1-S9/1 童ブ・博文館・巖谷小波、江見水陰・
- D 太陽(「太平洋」継) M28/1-S3/2(531) 総ブ・博文館・坪谷善四郎(坪谷水哉・大橋新太郎)・
- D 文芸倶楽部(「世界文庫」「明治文庫」「春夏秋冬」「逸話文庫」「文芸共進会」統) M28/1-S8/1(457+150) 文ブ、文タ・博文館・宮沢春文、堀野賢龍、
- D 少年文庫(「明治秀才千人文集」継) M28/7-M31/9(35+4) 「中学世界」改 文セト・博文館・
- D 閨秀小説 M28/12-(1) 文ブ・博文館・
- D 青年小説 M29/2-(1) 文ブ・博文館・
- D 小説六佳選 M29/11-(1) 文ブ・博文館・
- D 第二閨秀小説 M30/1-(1) 文ブ・博文館・
- D 柳北全集 M30/7-(1) 文ブ・博文館・
- D 秀才文叢 M30-(1) 文セト・博文館・
- D 中学世界(「少年文集」「外国語学雑誌」合) M31/9-S5/5 「文章世界」継 文セト・博文館・上村貞子、巖谷季雄、
- D 青年文藻 M31-(1) 文セト・博文館・
- D 講談揃 M32/1-(1) 文ブ、演ブ・博文館・
- D 梨園の春 M32/4-(1) 文ブ、演ブ・博文館・
- D 第二講談揃 M32/8-(1) 文ブ、演ブ・博文館・
- D 講談忠臣蔵 M32/11-(1) 文ブ、演ブ・博文

館・
D 太平洋 M33/1/1-M35/12/15 実業世界太平洋、太陽 週ブ・博文館・西村酔夢、桐生悠々、江見水陰、西村酔夢、
D 幼年世界 M33/1-M33/12 幼年世界 童ブ・博文館・巖谷小波・
D 女学世界 M34/1-T14/6 婦ブ、総ブ・博文館・松原岩五郎(二十三階)・松原岩五郎(二十三階)・
D 東京 M35/1-(1) 文ブ、旅ブ・博文館・田村昌新(田村松魚)・
D 京都と奈良 M35/4-(1) 文ブ、旅ブ・博文館・田村昌新(田村松魚)・
D 大阪と神戸 M35/7-(1) 文ブ、旅ブ・博文館・田村昌新(田村松魚)・
D 名古屋と伊勢 M35/10-(1) 文ブ、旅ブ・博文館・田村昌新(田村松魚)・
D 幼年画報 M39/1-S11/1 童ビブ・博文館・巖谷小波、新井弘城・巖谷小波、新井弘城・
D 文章世界(「中学世界」継)
M39/3-T9/12(204)「新文学」改 文ト、総ブト・博文館・田山花袋、前田晁、長・
D 少女世界 M39/9-S6/10 童ブフ・博文館・巖谷小波、沼田笠峰・巖谷小波、沼田笠峰、
D 新趣味 M39- 「新趣味」 継 文ブ、婦ブ・博文館・
D マメエホン M39-S11 童ビブ・博文館・
D 実業少年 M41/1-T1/12 童ブ、総ブ・博文館・石井研堂・
D 冒険世界(「写真画報」継)
M41/1-T8/12(157) 新青年 文ブセ・博文館・押川春浪、阿武天風、押川春浪・
D 幼年世界 (「幼年世界」 継)
M44/1-T12/10 童ブ・博文館・巖谷小波、武田桜桃・
D 演芸倶楽部 M45/4-T3/10(31)「演芸画報」 演ブ・博文館・石橋思案、岡村柿紅、
D 淑女画報 M45/4-T12/9 婦ブ・博文館・松原岩五郎・
D 講談雑誌 T4/4-S29/10 文タ・博文館、文友

館、博友社・生田調介・
D ポケット T7/9-S2/3 文タ・博文館・浜田徳太郎、鈴木徳太・
D 寸鉄 T8/1-T12/11「独立」改 総ブ・博文館・白石実三、鈴木徳太郎・
D 新青年(「冒険世界」継) T9/1-S25/7(400) 文ブセ、文スタ・博文館、江古田書房、文友館・森下岩太郎(森下雨村)・
D 譚海 T9/1-S19/4(291) 童ブ・博文館・
D 新文学(「文章世界」改) T10/1-T10/12(12) 文ト、総ブト・博文館・加能作次郎、岡田三郎・
D 新趣味 (「新趣味」 継)
T11/1-T12/11(23)「新青年」継 文ス・博文館・鈴木徳太郎・
D 独立(「寸鉄」改) T13/1- 総ブ・博文館・
D 朝日 S4/1- 文タ・博文館・
D 写真画報(「日露戦争写真画報」改) 冒険世界 写ブ?、戦ブ・博文館・
D 少年文学「少年世界」童ブ・博文館・
D 日露戦争写真画報 写真画報 写ブ? 戦ブ・博文館・
D 幼年玉手箱「少年世界」童ブ・博文館・

ほかに、ある特定の時期に創刊、あるいは廃刊された雑誌、特定の都道府県で発行された雑誌、特定の文学者が編集し、あるいは同人であった雑誌、俳句雑誌、等、さまざまな観点から検索をかけることが可能である。

5. 主な発表論文等
(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

・ [雑誌論文](計 2 件)

1 安藤宏「『道化の華』から見えてくる近代小説史」『日本文学論究』第七十三冊、國學院大學國文學會、2014年3月、pp.36-47 査読無

2 安藤宏「片岡鉄兵関連資料から見えてくるもの」『日本近代文学年誌 資料探索』第8号、日本近代文学館、2013年3月、

〔学会発表〕(計 2 件)

1 安藤宏「『道化の華』から見える近代小説史」、國學院大學国文学会春季大会シンポジウム「私をめぐると言説 昭和10年前後の文学を中心に」の基調報告、於國學院大學、2013年6月22日

2 安藤宏「『舞姫』読解の問題点」東京大学・コロンビア大学合同国際シンポジウム「日本文学に関する研究と教育の国際化」基調報告、於コロンビア大学、ニューヨーク、2013年3月29日

〔図書〕(計 2 件)

1 安藤宏『日本文学の表現機構』(高田祐彦、渡部泰明との共著)岩波書店、2014年3月、155~224p

2 安藤宏『近代小説の表現機構』岩波書店、2012年3月、415p

6. 研究組織

(1) 研究代表者

(2)

安藤 宏 (Ando Hiroshi)
東京大学大学院人文社会系研究科 教授
研究者番号：30193113

以上